

## Guillain-Barré (GBS) について

Guillain-Barré (ギラン・バレー)症候群とは、急性炎症性脱髄性多発神経根炎(AIDP)や Landry 型の上行性麻痺とも言われている、脳や脊髄以外の末梢神経の炎症性疾患です。特徴としては、全身の脱力が急激に進行し、下肢、腕、呼吸筋および顔面の麻痺にいたるケースがよくあります。また、異常な感覚が脱力に伴って発現する場合も頻繁にみられます。

多くの患者は特に、機械的人工呼吸を必要とする場合には、病気の初期の段階で集中治療室での治療が必要になります。多くの人は回復に至りますが、中には数ヶ月かかる人や、さまざまな程度の長期的な障害が残る人もいます。死亡率は 5%未満です。GBS は年齢、性別、または人種的背景に関係なく発病します。

## GBS の診断方法

大抵の場合は、患者の症状と身体検査から十分に GBS の診断を示唆できます。GBS では、身体の内側に同様に影響を与える異常な感覚を頻繁に伴う(上行性)脱力の急激な進行が病像として一般に現れます。通常は、膝蓋腱反射などの反射の消失が認められます。診断は、髄液蛋白の増加を調べる腰椎穿刺と神経・筋肉機能の電気的診断によって確定されます。

### 詳細については、下記の住所宛てにお願いいたします。

GBS/CIDP Foundation International, The Holly Building - 104 1/2 Forrest Avenue - Narberth, PA 19072, USA

または電話 1-610-667-0131 Fax 1-610-667-7036 www.gbsfi.com email: info@gbsfi.com

寄付(課税控除の対象)を頂ければ、当基金が人を助けるのに役立ちます。どうぞよろしくお願ひ致します。非営利組織 501(c)(3)

## GBS の治療方法

他の身体機能の監視を受けます。

療法には、麻痺患者用の全身支持療法や、特に歩行困難などの深刻な問題を抱えた患者が急速に回復に向かうように特別に設計された方法が用いられます。血漿交換(血液の「清浄」処理)と免疫グロブリン大量静注療法は GBS の経過の短縮にしばしば役立ちます。

ほとんどの患者は、早期入院後に医学的に安定した状態になれば、リハビリテーションプログラムを用いて、神経伝導の回復に合わせて筋力の回復に努めることが勧められます。

## GBS の原因

GBS の原因は不明です。咽頭痛や下痢などのウイルスまたは細菌感染後に発現するケースが約半数を占めると見られています。多くの場合、1976 年の豚インフルエンザのワクチンを接種した人に発現しています。現在の理論では、抗体と白血球による防御系が誘発されて神経皮膜を損傷する自己免疫機構によって、脱力と異常な感覚が出現する、とされています。

初期段階の病気の進行は予測不能であるため、新たに診断された患者は入院し、通常は集中治療室に収容されて、呼吸やその

## GBS/CIDP Foundation International について

この基金は回復可能かどうかわからないこの恐ろしく致命的にもなり得る疾患を患った患者を支援す

る目的で Robert & Estelle Benson によって 1980 年に創立されました。基金は米国、カナダ、ヨーロッパ、オーストラリア、南アフリカ、ニュージーランドに 160 以上の支部を設けています。この基金の目標は、GBS 患者、およびその家族をサポートすることにあります。基金の医療諮問機関には、これらの疾患において世界的に有名な専門家や、自身もこの疾患を経験した医師の方々が名を連ねております。

## サポート情報

GBS に自分または身近な人がかかっている、支援や情報が必要な方は、基金までお問い合わせください。また、地元でサポートグループ支部を形成したり、GBS に詳しい地元の医師と連絡を取りたい場合も、基金までお問い合わせください。医療専門家の方で文献や患者に対する精神面でのサポートが必要な場合も、お気軽にお問い合わせください。

## 利用できるサービス

- 回復した元患者による患者訪問
- 総合情報小冊子『GBS の概要(一般人向け)』
- ポスター、公示サービス
- 地元支部による患者支援活動
- 世界中にある支部の一覧
- GBS の治療経験を持つ医師の紹介
- ニュースレター
- 研究資金提供
- 医学界と一般大衆用の国際教育シンポジウム
- CIDP データ表
- 基金のウェブサイトへのアクセス

# GBS/CIDP Foundation International

## Guillain-Barré 症候群と 慢性炎症性脱髄性 多発ニューロパチー

GBS、CIDP、変異型の患者への  
サポート、教育、研究の提供

## Guillain-Barré 症候群

— • —

## 急性炎症性多発ニューロパチー

GBS/CIDP Foundation International

GBS、CIDP、変異型の患者へのサポート、教育、研究の提供  
Guillain-Barré 症候群・慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチー

International Office  
The Holly Building  
104 1/2 Forrest Avenue  
Narberth, PA 19072, USA

### 名誉理事

Rachel Chagall\* Marjorie H. Downey\*  
Andy Griffith\* Joseph Heller\* #

### 理事会

William T. Gaffney Barbara Hoffman\*  
Ronald B. Kremnitzer\* Wayne D. Mitchell\*  
Marlyn Tedesco C. Walter Nichols, III\*

### 常任/ 準常任理事

Estelle L. Benson/Barbara Katzman

### 役員

Sara Voorhees Pessel\* 会長  
Joel S. Steinberg, MD, PhD\* 副会長  
Sue D. Baier\* 書記  
Henry Friedman\* 会計役

### 取締役会

Sue D. Baier\* Robert Benson, CLU, ChFC\*  
Patricia Bryant\* Patricia H. Blomkwist-Markens\*  
Henry Friedman\* Thelma Gifford, RN\*  
Jerry R. Jones Susan Keast\*  
Kim Koehlinger\* Harriette Lion  
Ralph G. Neas, Esq\* Glennys Sanders\*  
Sara Voorhees Pessel\* Laura E. Stegossi, Esq  
John F. Schilke, MD\* Joel Steinberg, MD, PhD\*

### 医療諮問委員会

Barry G. W. Arnason, MD  
Arthur K. Asbury, MD  
Richard J. Barohn, MD  
Mark J. Brown, MD  
Kopel Burk, MD\*  
David Cornblath, MD  
Jonathan Goldstein, MD  
Kenneth C. Gorson, MD  
Michael G. Graves, MD  
John W. Griffin, MD  
Angelika F. Hahn, MD  
Hans-Peter Hartung, MD  
Thomas L. Hedge, Jr., MD\*  
Prof. R.A.C. Hughes  
Jonathan S. Katz, MD  
Carol Lee Koski, MD  
Richard A. Lewis, MD  
Robert Lisak, MD  
Robert G. Miller, MD  
Gareth J. Parry, MD  
Allan H. Ropper, MD  
John T. Sladky, MD  
Joel S. Steinberg, MD, PhD\*  
Pieter A. van Doorn, MD  
Prof. Hugh J. Willison, PhD

\* GBS、CIDP の元患者

# 故人

詳細については、GBS/CIDP Foundation  
International までお問い合わせください。  
The Holly Building  
104 1/2 Forrest Avenue  
Narberth, PA 19072, USA  
電話: 1-610-667-0131 Fax 1-610-667-7036  
www.gbsfi.com email: info@gbsfi.com